

DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース) 愛称：世界配当倶楽部

追加型投信/海外/株式

月次運用レポート

2012年5月

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

DIAM世界好配当株オープン・マザーファンドへの投資を通じ、実質的に世界各国の株式(日本を除く)へ投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

主として海外の株式に投資し、相対的に高い配当利回りをねらい、配当利回りの伸長の機会を捉えます。

世界各国(日本を除く)の様々な業種に広く分散投資を行います。

- マザーファンドの組入銘柄の選定に当たっては、DIAM U.S.A., Inc.(北米)およびDIAM International Ltd(欧州)の投資助言を受け、運用します。

毎月決算を行い、原則として配当等収益を中心に分配を行うことをめざします。

- 毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として配当等収益を中心に安定した分配を継続的に行うことをめざします。また、毎年3月・6月・9月・12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配をめざします。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向の急激な変化が生じたとき等には、実質組入比率を引き下げることがあります。

実質組入外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

株価変動リスク..... 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

個別銘柄選択リスク..... 当ファンドは、実質的に個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも当ファンドの基準価額は下がる場合があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

為替リスク..... 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク..... 実質的に投資する株式や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク..... 当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

カントリーリスク..... 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があります。基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料は7枚ものです。P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。
なお、別紙1も併せてご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

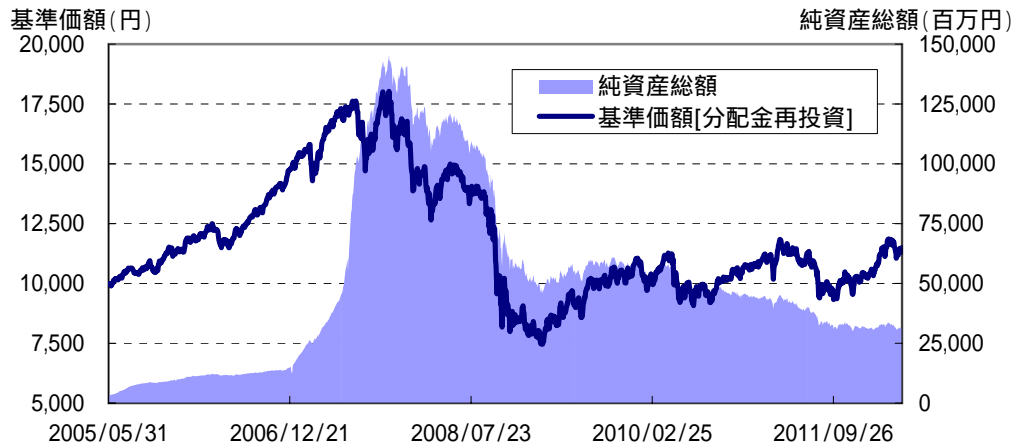
加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)(愛称：世界配当倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート(2012年5月)

運用実績の推移



(設定日：2005年6月1日)

基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

(決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	5,067 円
解約価額	5,052 円
純資産総額	31,479 百万円
設定日	2005年6月1日
決算日	原則として毎月26日

ポートフォリオ構成

実質組入比率	94.4 %
内現物等組入比率	94.4 %
内先物等組入比率	0.0 %
現金等比率	5.6 %
組入銘柄数	121

比率は純資産総額に対する実質組入比率

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	-0.88%	10.97%	9.63%	-1.48%	4.26%	34.79%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前)

直近3年分

第46期 (2009.05.26)	40 円	第58期 (2010.05.26)	40 円	第70期 (2011.05.26)	20 円
第47期 (2009.06.26)	40 円	第59期 (2010.06.28)	40 円	第71期 (2011.06.27)	20 円
第48期 (2009.07.27)	40 円	第60期 (2010.07.26)	40 円	第72期 (2011.07.26)	20 円
第49期 (2009.08.26)	40 円	第61期 (2010.08.26)	40 円	第73期 (2011.08.26)	20 円
第50期 (2009.09.28)	40 円	第62期 (2010.09.27)	20 円	第74期 (2011.09.26)	20 円
第51期 (2009.10.26)	40 円	第63期 (2010.10.26)	20 円	第75期 (2011.10.26)	20 円
第52期 (2009.11.26)	40 円	第64期 (2010.11.26)	20 円	第76期 (2011.11.28)	20 円
第53期 (2009.12.28)	40 円	第65期 (2010.12.27)	20 円	第77期 (2011.12.26)	20 円
第54期 (2010.01.26)	40 円	第66期 (2011.01.26)	20 円	第78期 (2012.01.26)	20 円
第55期 (2010.02.26)	40 円	第67期 (2011.02.28)	20 円	第79期 (2012.02.27)	20 円
第56期 (2010.03.26)	40 円	第68期 (2011.03.28)	20 円	第80期 (2012.03.26)	20 円
第57期 (2010.04.26)	40 円	第69期 (2011.04.26)	20 円	第81期 (2012.04.26)	20 円
					累計分配金 7,440 円

1 分配金は1万口当たり

2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

当資料は7枚ものです。

P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)(愛称：世界配当倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート(2012年5月)

国別配分		
	発行国	比率
北米	米国	37.92%
	カナダ	9.30%
	計	47.22%
中南米	バミューダ諸島	0.71%
	計	0.71%
欧州	フィンランド	0.59%
	フランス	3.49%
	ドイツ	3.28%
	アイルランド	0.79%
	イタリア	0.65%
	オランダ	1.47%
	スウェーデン	2.49%
	スイス	4.41%
	英国	14.26%
	ノルウェー	1.34%
	計	32.77%
アジア・中東	オーストラリア	6.21%
	ニュージーランド	0.71%
	香港	2.08%
	シンガポール	4.75%
	計	13.74%
株式計		94.44%
現金など		5.56%
合計		100%

組入上位10業種		
	業種名	比率
1	エネルギー	12.89%
2	食品・飲料・タバコ	12.36%
3	銀行	11.68%
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.77%
5	公益事業	8.27%
6	素材	7.57%
7	資本財	7.16%
8	電気通信サービス	5.45%
9	保険	4.64%
10	各種金融	3.24%

- 1 比率は純資産総額に対する実質組入比率
2 比率には不動産投信(リート)を含む場合があります。

- 1 比率は純資産総額に対する実質組入比率
2 比率には不動産投信(リート)を含む場合があります。

組入上位10銘柄					
No	銘柄	国名	業種	比率(%)	配当利回り
1	フィリップモリスインターナショナル	アメリカ	タバコ	2.38	3.28%
2	ロイヤル・ダッチ/シェル	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	2.05	4.69%
3	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	タバコ	1.73	4.41%
4	ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	1.67	4.12%
5	グラクソ・スミスクライン	イギリス	医薬品	1.56	5.54%
6	ボーダフォン・グループ	イギリス	無線通信サービス	1.51	5.91%
7	ノバルティス	スイス	医薬品	1.39	4.50%
8	ネスレ	スイス	食品	1.36	3.52%
9	トタル	フランス	石油・ガス・消耗燃料	1.29	6.25%
10	B A S F	ドイツ	化学	1.03	3.84%

- 1 比率は純資産総額に対する実質組入比率
2 配当利回りは、過去1年の発表済み配当金額を基に表示しています。将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料は7枚ものです。
P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)(愛称：世界配当倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート(2012年5月)

4月のマーケット動向と当ファンドの動き

4月の外国株式市場は概ね下落しました。米国株式市場は、月初に発表された3月のISM製造業景況指数は改善したものの、直後に発表されたFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録において追加緩和の必要性が示唆されなかったことを受けて、追加緩和期待が後退したこと等が嫌気され下落しました。その後発表された米国の雇用統計は、予想を大幅に下回る内容となり、株式市場は急落する展開となりました。月の後半にかけては、ECB(欧州中央銀行)の一部メンバーがスペイン国債購入プログラムの再活用を示唆したことやイタリア国債の入札が無難に終わったこと、1-3月期の企業決算が概ね堅調な内容となったことなどが好感され、月初からの下げ幅を縮小して取引を終えました。欧州株式市場も同様の展開となりました。アジア株式市場は方向感に乏しい展開でした。キャピタルゲイン課税導入への不安から台湾市場が下落した一方、中国市場など一部のアジア株式市場は上昇しました。

業種別では、これまで堅調だった資本財やテクノロジー、欧州債務問題を受けた金融、軟調な原油価格の影響を受けたエネルギーセクターの下落が大きかった一方で、収益が相対的に安定している公益や生活必需品セクターは底堅い動きとなりました。為替市場では、米国景気に対する懸念や欧州債務問題の再燃により円が主要通貨に対して上昇したため、ファンドのリターンにはマイナス要因となりました。

当月の主な投資行動としては、素材セクターのウェイトを引き下げた一方、公益セクターのウェイトを引き上げました。また、地域では、オセアニアのウェイトを引き下げ、アジアのウェイトを引き上げました。

4月の基準価額は、0.88%下落しました。テクノロジーや公益関連銘柄の上昇がプラスに寄与した一方で、軟調に推移した資本財やエネルギー関連銘柄がマイナスに寄与しました。

当ファンドで保有している銘柄の平均利回りは月末時点で4.4%(現地源泉税控除前)となっています。

今後のマーケットの見通しと運用方針

今後の外国株式市場の見通しについては、引き続き大きなレンジで上下する展開を予想していますが、短期的には軟調な展開を予想しています。米国経済は、雇用環境や住宅環境の改善が見られていますが、そのペースは緩やかです。欧州経済は米国よりも弱く不安定な状況が続いており、欧州債務問題については、ギリシャの債務再編は行われたものの、スペインなどの高債務諸国も依然として問題を抱えていることから、抜本的な解決には時間がかかる見通しです。また、中国経済についても、回復の兆しはあるものの未だ不透明な状況であることから、世界経済の動向について今後も注視していく必要があります。また、株式市場は、年初から大きく上昇しているため、短期的には引き続き利益確定の売りが出やすい状況であると考えます。以上の点から、当面の外国株式市場は、好悪材料の綱引きにより上下にも揉み合う展開が継続すると考えています。短期的な市場の注目材料としては、5月中旬に予定されている米ソーシャル・ネットワーキング・サービス大手のフェイスブックのIPO(新規株式公開)が挙げられます。調達金額は100億ドルを超えるとも言われており、同社の上場後の値動きは市場全体にも影響を与えようと思われま

運用方針としては、引き続き、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保を目指した運用を行います。具体的には、配当利回りが市場平均以上であり、利益およびキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄を選別します。業種としては、キャッシュフローが潤沢で、配当性向も高い生活必需品、電気通信サービスセクターを中心にファンドを構成します。

株式組入比率については、高位を維持する方針です。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)(愛称：世界配当倶楽部)

追加型投信/海外/株式
月次運用レポート(2012年5月)

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所、またはロンドン証券取引所の休業日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2005年6月1日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月26日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率1.15%(税抜1.10%)を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は7枚ものです。
P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)(愛称：世界配当倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート(2012年5月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください
- < 投資顧問会社 > DIAM U.S.A., Inc.
DIAM International Ltd

委託会社の照会先

- DIAMアセットマネジメント株式会社
- コールセンター 0120-506-860
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)
- ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>



モーニングスター アワード“ファンド オブ ザ イヤー2011”

『最優秀ファンド賞(国際株式型 部門)』受賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2011”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2011年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型 部門は、2011年12月末において当該部門に属するファンド779本の中から選考されました。

当資料は7枚ものです。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)(愛称：世界配当倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート(2012年5月)

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号					
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号					
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第2号					
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号					
株式会社北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第48号					
株式会社富山銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第1号					
株式会社福井銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第2号					
株式会社滋賀銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号					
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号					
株式会社トマト銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第11号					
株式会社徳島銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第10号					
株式会社香川銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第7号					
株式会社商工組合中央金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第271号					
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号					
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号					
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号					
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第120号					
トレイダーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第123号					
西日本シティT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号					
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号					
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号					
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号					
浜銀T証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号					
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号					
三木証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第172号					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号					
山和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第190号					
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号					
株式会社北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号					1
オリックス銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第11号					1
三井住友海上火災保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第141号					1

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は7枚ものです。

P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

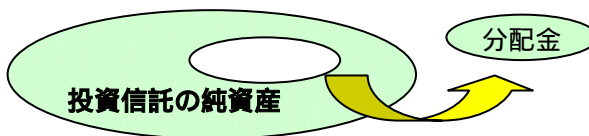
設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

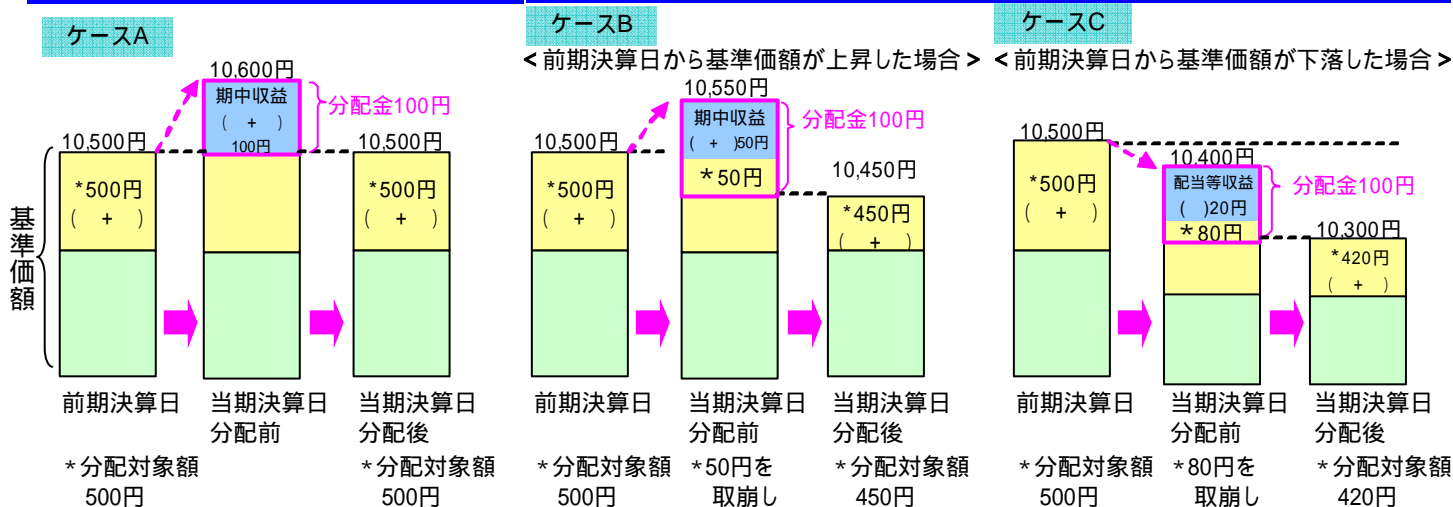
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

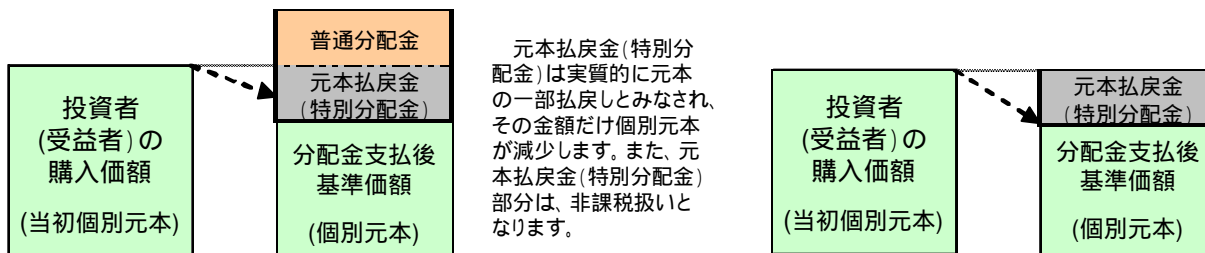
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。